



青研かわらばん

青研かわらばん

no. 73

かわらばん
アーカイブス長岡鉄工業
青年研究会HP

【発行所】長岡鉄工業青年研究会【発行責任者】高坂 壮【編集責任者】本田 恵亮

【編集者】小林 昂輝・佐藤 邦宏・鈴木 敬子・丸山 栄紀・渡辺 亮平

【事務局】新潟県長岡市表町3丁目1番8号 リナシエビル3 8階 長岡鉄工業青年研究会 TEL: 0258-36-6982

【制作】(株)Wonder 東京都葛飾区西新小岩 4-41-1

新会長挨拶

新年度を迎えて

長岡鉄工業青年研究会
2025年度会長たか お ひろ ひと
高尾 博仁

二〇二五年度長岡鉄工業青年研究会会長を務めさせていただくことになりました。株式会社アオヤマテックスの高尾博仁です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新潟県外出身者として会長職を務めるにあたり、改めて長岡の鉄工業の歴史を調べました。明治中期の東山油田開発を契機に、石油掘削機械の製造や修理が求められるようになり、さまざまな世界情勢の変遷の中で、長岡の鉄工業は、工作機械、機械加工、板金、製缶、鋳造、鍛造、熱処理、表面処理などの基盤技術を持つ企業をはじめ、電気・電子機器、液晶半

導体技術に強みを持つ企業や、開発・設計から組立まで一貫して行う企業など、地元発祥のものづくり企業が集まっています。また、全国から集まる企業とともに、全国・世界の製造業において重要な役割を果たすものづくりの拠点となっています。このようなものづくりが集積する地にある当会の会長職を務めさせていただくことに、改めて先輩方が築かれた歴史と伝統に深い敬意を抱き、身が引き締まる思いです。

一方、長期化する戦争や内戦、紛争、政治、経済の不透明さ、円安や物価高、エネルギー価格の高騰、異常気象による災害や天災など、激しく変化する国内外の情勢により、私たちを取り巻く環境は日々変動しています。先行きが見えない多くの課題に対し、私たちは向き合っているかねばならない状況です。

多くの中小企業にとって、今後も厳しい状況が続くと予想されます。自社内だけの努力では対処できない不安定な環境に直面する可能性が高いため、他社や他者との連携やネットワー

クの拡充、そして広い視野を持つことが重要です。これにより新たな知識や技術、考え方、価値観に触れる機会が生まれ、新しいビジネスチャンスや事業連携の可能性を見出すことができ、自身の成長につながるものと考えています。

そこで、二〇二五年度の活動方針として、「つながり」を掲げました。「つながり」「関わり」「絆」「結びつき」「支える」といった視点から、次世代に向けて「つながり」を目標とします。また、会員同士やOB会員、他社や他者、団体、地域、関係機関との「つながり」を深め、互いに支え合いながら、行動できる一年にしていきたいと思っています。

一、人材育成・会員増加

来年度は、当会が発足してから五十五周年、また長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御への参加が三十回目を迎える記念すべき年となります。本年度は節目の年を迎えるにあたり非常に重要な一年ですが、一昨年度から要職を務めてこられた方々の卒業が続く、新型コロナウイルス感染症拡大以降に入会した会員が半数以上を占めています。そのため、従来の活動様式を知る会員が卒業を控えており、会員数の減少とともに世代交代の過渡期を迎えています。このような状況において、私たちは「お互いに助け合い支え合う相互扶助」の精神のもと、会員一人ひとりが成長できるよう学びを深め、「人材」を「人材」と育成し、次世代に繋げること意識した定例委員会や各事業を展開していきます。

本年度の現役会員数は二十五名となりました。近年、働き方改革や組合へのアプローチ方法の変化により、青研のような会の必要性を疑問視する方も一定数存在します。しかし、会員減少に歯止めをかけ、増加へ向けた流れを作るためには、新たな魅力を見出し、それを発信・強化することが重要です。そのために、日頃より当会の活動にご理解いただいている皆様には、会社の将来を担う人材をご紹介いただくようお願い申し上げます。また、関連企業様へは、当

会の活動内容や、そこで得られる人脈や成長の機会についてアピールし、新規会員の獲得に向けて取り組んでまいります。

二、地域貢献・交流事業

本年度も地域貢献・交流事業として、八月一日に行われる「長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御」に、代々受け継がれているオリジナル神輿と纏を携えて参加し、地域の皆様に当会をアピールしてまいります。現役会員が減少している現状において、OBの皆様や担ぎ手の方々のご協力なしでは、この事業の実現は不可能です。ご賛同いただける皆様には、引き続きご支援ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

九月二日には、OB会員の皆様や趣旨にご賛同いただいた企業・団体、会員企業のご協力を得て、「屑鉄集め」を実施いたします。この事業におきましても、ご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。集めた屑鉄は、長岡に暮らす子供たちや支援が必要な方々、そして施設で働く方々に届ける活動に使わせていただきます。

また、新町小学校主催の「新町ものづくりワークショップ」や長岡ものづくりフェア実行委員会主催の「長岡ものづくりフェア」に参加し、多くの子供たちにもものづくりの楽しさや魅力を伝え、鉄工業への興味を持っていただける機会を提供したいと考えています。

さらに、県内産業の発展のため、中越鉄物青年研究会、柏崎青年工業クラブ、小千谷鉄工電子協同組合木曜会などの団体との意見交換や情報共有を進め、親睦を深めるための交流イベントも計画してまいります。

以上の事業を中心に運営を進めてまいります。現在、会員数の減少が大きな問題となっており、時代の変化に対応するため、事業計画や組織体制の見直しを行います。会員一人ひとりが目的を持ち、自身の成長につながる活動を行います。節目の年に向けて、つなげていく一年といたします。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。



一年を振り返って

長岡鉄工業青年研究会
二〇二四年度会長

高坂 壮
たかさか たけし

一昨年の秋頃、次年度会長の人選に苦戦されていた清水直前会長に、「卒業年度だけど、私でよければやりましようか?」と言いつつも、「ゴルフはしませんよ。」と我儘な要求を突きつけ、私の会長職はスタートしました。宣言通りにゴルフはせず、会長という立場を大いに利用し、ひたすらに自分の好きなものづくりに傾向し、苦手な事は役員の皆様を信じて任せるというスタイルで、ろくにフォローもせず、会の代表としては、なかなかにお粗末な会長であつたと自覚しております。こんな私に花を持たせるべく、本当に一生懸命に尽力して下さった、優秀な役員の皆様、会員の皆様には感謝すると同時に、どうして自分にここまで協力してくれるのかと、生まれて初めて感じる、うれしい悩みを一年を通して考えさせられる年となりました。

会長という立場は責任も大きく、ネガティブな思考になれば、たちまちにプレッシャーに負けてしまいそうな役割ではあります。人から羨まれるくらい、楽しそうな会長を演じてやると心に誓い、会員の皆様にも、人から羨まれるくらいに当会の活動を楽しんでほしいとお願ひしました。楽しんでる人が集う場には人を引き付ける強い力があると考えたからです。結果として、私にとってこの一年は、やりたい事をやり通し、会員の誰

っております。

結びに、お世話になりました関係各機関団体の皆様、そして、会員の皆様にごの場をお借りして心より感謝申し上げます。私は卒業で会を去りますが、高尾新会長のもと、長岡鉄工業青年研究会の益々の発展を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

よりも、心から青研活動を楽しめたと自負しております。私の感じた楽しさが、会員の皆様へ少しでも伝わっていれば良いなと願っております。

委員長 本田 恵亮
ほんだ けいすけ

本年度は私自身初めて青研の活動で委員長を務めさせていただきました。

青研活動三年目で、まだ経験が浅い中での初めての委員長ということ、私で務まるのかという不安と葛藤がありました。しかし、選んでいただいた会長や諸先輩方の期待に応えたい、そして青研活動を通して自身を成長させたいという思いから、この一年活動してまいりました。

卒業式を皮切りに、役員会の運営、AIセミナーの実施、忘年会、臨時総会・新年会、そして四月に開催される定期総会を中心に、さまざまな事業を運営してまいりました。特に、新年会では、多くの

ご来賓の方々にご出席いただき、お話をさせていただく中で、改めて当会の歴史と伝統の重みを感じました。

総務委員長として、役員会の運営や各種連絡を担う中で、自分の至らなさを痛感し、悔しい思いをすることも多々ありました。この一年、本業と青研活動の間で、多くの失敗も経験しました。その中で、高坂会長、井上・高尾両副会長をはじめ、役員の皆様方からの多大なるアドバイスやフォロー、所属委員の皆様とのサポートのおかげで、一年間の事業を全うすることができました。改めて、長岡鉄工業青年研究会のすばらしさを実感するとともに、多くの学びを得て、成長することができました。

最後になりますが、至らぬ点が多い私を、厳しくも温かく見守ってくださった高坂会長をはじめ、役員・会員の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

◆卒業式

二〇二四年四月六日(土)、割烹魚藤にて、卒業式が行われました。本年は、経験



豊富な二名の方が卒業されました。卒業生が目には涙を浮かべる姿は、いかに青研活動が充実していたかと言うことが、後輩の

我々に伝わったシーンでした。卒業生を囲み、大いに語り合いながら、華やかに送り出すことが出来たのではないかと思います。運営に関しては、会員減少がさらに進むことが予想されるため、臨機応変に対応できるように対策を講じてまいります。高坂会長のお話にもありましたが、辛そうに事業をするのではなく、楽しみながら会員の皆様と共に創り上げていければと思います。

御 来 賓 中越 鑄物青年研究会

武 怜央奈 様

御 卒 業 会 員 二名

阿部 修平 様

大塚 淳史 様

現 役 会 員 二十一名 (本田 恵亮)

◆忘年会

二〇二四年十一月二十九日(金)、花月苑にて、現役メンバーによる忘年会が開催されました。一年間の成果や反省点・改善点を振り返りながら、笑顔が絶えない、あつという間のひとときとなりました。忘年会を通じて、日頃の活動を振り返るとともに、改めて会員のつながりを深める貴重な機会となりました。運営では反省すべき点もありましたが、次回に活かし、より良い会を作れるよう努めてまいります。忘年会で二層深めた絆が、来年度以降の長岡鉄工業青年研究会の活動をより充実させるきっかけとなれば幸いです。参加していただいた会員の皆様、そして協力していただいた委員会メンバーの皆様、心より御礼申し上げます。

◆臨時総会・合同新年会

(小林 昂輝)



二〇二五年二月七日(金)、ホテルニューオータニ長岡にて臨時総会と合同新年会を行いました。臨時総会では、次年度の人事が無事に決議されました。二〇二六年度には、当会が発足五十五周年を迎え、また長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御への参加が三十回目となる重要な年に向け、高尾次年度会長が掲げる「つなぐ」という活動方針のもと、私たちが会員一同も未来へ向けて新たなつながりを築いてまいります。

中越鋳物青年研究会との合同新年会では、ご来賓や歴代会長の方々と両会の会員が一体となっておもてなしし、終始和やかな会となりました。昨年同様にプロジェクトを活用し、両会長による活動報告が、映像で分かりやすく伝えることができたのではないかと思います。運営に当たり、ご迷惑をおかけした点や至らぬ点も多々ありましたが、皆様からの多大なるご協力を賜り、無事に終えることが出来たことを心より感謝申し上げます。

ぬ点も多々ありましたが、皆様からの多大なるご協力を賜り、無事に終えることが出来たことを心より感謝申し上げます。

臨時総会

出席 二十一名

委任状による出席 四名

合計二十五名

合同新年会

御来賓 五名

長岡鉄工業青年研究会 九名

歴代会長 九名

長岡鉄工業青年研究会会員 二十名

中越鋳物青年研究会歴代会長 六名

中越鋳物青年研究会会員 八名

合計四十八名

(本田 恵亮・丸山 栄紀)

◆定期総会・卒業式



二〇二五年四月十二日(土)、迎賓會館紡希にて、定期総会と卒業式を実施いたします。

事業報告

渉外・研修委員会

委員長 池田 成輝

二〇二四年度は高坂会長の基本方針「強創」のもと、渉外・研修委員長を担当させていただきました。初めての委員長経験でありましたが、委員、副委員長としての経験を積んだ後の委員長拜命であったことで、不安よりも期待が大きかった年初を思い出します。

一年間を振り返り、多くの担当事業があつたことで、準備期間が重なり、忙しい時期もございました。しかし、その分達成感も多く、非常に充実した一年となりました。当委員会のセミナーや研修、ものづくり事業は通例でないため、基本方針や会長の意向に基づいて実施内容を考案する必要がある、その年の「色」を出せる重要な役割を担っていると感じております。特に本年は、会員自らが講師を務めたセミナーの実施や、児童向けものづくり体験の製作物に電子部品を組み合わせるなど、今までにない試みに挑戦したことで、各事業の幅も広がり、新たな可能性を創造することができたと実感しております。

当委員会の事業は、外部との交流や他団体イベントへの参加など、人手を必要とする場面も多くございましたが、会員ならびに関係者の皆様のご協力を賜り、全ての事業を無事に実施することができ

ました。年間を通して、当委員会メンバーのみならず、皆様と共に一丸となって創り上げることができたことで、まさに基本方針「強創」を体現することができたと感じております。一年間、誠にありがとうございました。

◆生成AIセミナー



二〇二四年七月十二日(金)まちなかキャンパス長岡にて生成AIセミナーを実施しました。国内でデジタル推進の流れが強まる中、昨今話題の「生成AI」について当会員が講師を務めながら、活用方法や応用例を学び理解を深めることを目的とし、今後の事業や資料作成に展開することを目指しました。本セミナーを通じて生成AIの概要から実演、応用例まで幅広く学ぶことができ、「コパイロット」を使用した実演や複雑なエクセル数式の解決方法など、多岐にわたる内容が含まれ、非常に有意義なセミナーとなりました。また、会員自らが講師を務めることで、プレゼンテーションスキルも向上することができました。

今後このような活動を通じて、デジタル技術の進化に対応し、更なる成長に向けて邁進いたします。

参加者

長岡鉄工業青年研究会 会員 十九名

(水落 正樹)

◆蒼柴神社参道整備

共同事業

二〇二四年十月五日(土)長岡蒼柴ライオンズクラブけやき支部、長岡大学レオクラブとの共同事業として蒼柴神社の参道整備を行いました。

今年度は秋のみの開催となりましたが、当会員だけでなく他団体との協力により参道入り口まで事故やケガ無く無事に整備を行うことができました。今回の事業で目標としていた入口までの整備が終わり、これまでの取り組みに一区切りつけることができました。整備された石畳を見て、これまで携わってくださっ



た方々の取り組みに思いを馳せると感慨深く感じます。長岡の歴史ある蒼柴神社の参道を通る多くの方々はその歴史を体感していただき、また親しまれながら利用されることを願っております。

参加者

長岡蒼柴ライオンズクラブ

長岡蒼柴ライオンズクラブけやき支部

長岡大学レオクラブ

長岡鉄工業青年研究会

(荒川 大樹)

◆新町ものづくり

ワークショップ

二〇二四年九月十日(火)に長岡市立新町小学校にて、「新町ものづくりワークショップ」に参加させていただきました。

今回は従来の製作物とは趣向を変えて動きを加えた恐竜型マジックハンドを作製しました。生徒たちは個々に作業を進めながらも、困難な箇所は会員と一緒に進め、終始楽しそうに取り組んでいました。最後には各々の作品に好きな色を



塗り、近くの生徒たちと比べあいなどをしていました。生徒からは「動きがあるのが嬉しい」等の好意的な感想を聞くことができ、ものづくりの楽しさを体験できたのではないかと思います。

今回の事業により、生徒が鉄工業へ興味や関心を持つきっかけとなり、将来の選択肢の一つになれば嬉しく思います。お忙しい中、参加してくださいました会員皆様、ご協力いただきありがとうございました。

参加者

新町小学校児童 十六名

長岡鉄工業青年研究会 会員 十名

(荒川 大樹)

◆夏休みものづくり

体験教室

二〇二四年八月十九日(月)、長岡市児童養護施設双葉寮にて夏休みものづくり体験教室を開催しました。

当日はエレキギターの組立て、当会オリジナルラジコンカー、恐竜ペンホルダーを製作しました。各児童はドライバーやペンチ、塗装スプレー等の工具を使用し楽しそうに作業していました。また、半田付けや塗装など難しい加工は会員がサポートしました。その他に、鋼材や金属加工に関するクイズ、小型3Dプリンターによる樹脂加工の見学を実施しました。

当活動を通じて、児童がものづくりのやりがいや面白さを体験し、鉄工業に興味を持つ良い機会になれば幸いです。

今後とも地域貢献の一助としてこのような活動を継続して参りたいと思います。本事業にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

参加者

長岡市児童養護施設

双葉寮

児童

十七名

長岡鉄工業青年研究会

会員

十五名



◆雪下ろしロボット

試作開発

(水落 正樹)

昨年に引き続き、長岡市地域振興戦略部より依頼を受け、高齢者の雪下ろし作業中の事故防止を目的とした雪下ろしロボットの試作開発を行いました。

今年度は本格的にラジコンによる遠隔操作のロボット開発に着手した中で、まずは平地での試行を目指し開発を進めました。機体前方に取り付けたオーガで雪を砕き、下部のアルキメデアンスクリューにて雪を後方に排出する仕組みを利用して前進し、後方に取り付ける樹脂製の板で屋根の下に雪を滑り落とす設

計としました。

積雪時に試行したところ、実際の雪に
対する能力は不十分ではありましたが、
今後、機体を改良するために必要な情報
を得ることができました。試行会当日に
は多数のメディアにも取り上げられたこ
とで、当会の活動を幅広く周知すること
ができたかと思えます。

ご多忙中、本事業にご協力いただきま
した皆様に心より御礼申し上げます。

開発メンバー

株式会社 三光社 様
Roktrack 様
長岡鉄工業青年研究会

◆研修旅行

二〇二四年十一月八日(金)から九日
(土)の二日間にかけて研修旅行を行いま
した。

一日目はNTT東日本の中央研修セン
ターを訪れ、雪下ろしロボット試作開発
事業に関連するドローン技術や関係法
令を学びました。また、NTT社が展開
する最新のソリューションを見学しまし
た。NTT社が得意とする通信システム
やAI技術を新たなビジネスチャンスと
して活用している姿勢に感銘を受けまし
た。

二日目はJIMTOFを視察しまし
た。最新の機械や技術に触れることで、
各会員が日常業務に関連する情報や改
善のヒントを得る機会になったかと思
います。

二日間を通して、最新の技術や機械、

ソリューションについて多くの学びがあ
り、非常に有意義な研修旅行となりまし
た。

最後に事業に協力いただきました関
係各社の皆様とご参加いただきました
皆様に心より御礼申し上げます。

参加者

長岡鉄工業青年研究会 会員 十五名
(田中 祐樹)



事業報告

実行委員会



委員長 村山 広
むらやま ひろし

今年度の活動方針である
「強創」に基づき、実行委員会
では会員の事業実行力の強
化と社会福祉活動の拡大に
よる新たな関係構築を目標
に活動しました。

会員数の減少や経験豊富
な会員の卒業により、従来通
りの事業運営が困難になつて
いく問題に対し、事業実行力
の底上げを図るため、青研で
のキャリアが浅い会員を中心
に委員会を編成しました。実
行副委員長を務めた経験を
活かし、事業計画のブラッ
シュアップと引継ぎ資料の活
用によるタスクの明確化を進
め、運営の効率化を実現しまし
た。さらに、他団体を招いてのゴルフコンペの運営
や、昨今の酷暑による熱中症のリスクを
避けるために、ゴルフコンペ開催時期を
変更するなどの挑戦を通して、柔軟な事
業運営のできる実行力が、身についたと
感じています。

屑鉄基金の寄付では、恒例の施設への
寄付に加え、不登校児童を支援する団
体への寄付も行いました。新たに個人で
運営されている支援団体に目を向ける
ことで、これまでとは異なる悩みを抱え
る児童がいることに気づくことができました。
また、新たに関係を築いた団体と
共に、子供たちに向けたものづくりイベ
ント開催など、新たな社会・児童福祉活

動へつながりを築くことができました。
今後も事業を通して鉄工業の魅力を
伝え、業界の発展に尽力する所存です。
活動を支えてくださった現役会員の皆
様、事業にご参加、ご協力いただいたO
B会員の皆様に、心より感謝申し上げ
ます。

◆卒業生追い出し ゴルフコンペ

二〇二四年四月二十七日(土)柏崎カン
トリークラブにて卒業生追い出しゴルフ
コンペを開催いたしました。当日は天候に
も恵まれ、卒業生を送り出すのにふさわ
しい清々しい空気の中でコンペを開催す
ることができました。卒業生と会話を楽
しみながらのラウンドは現役会員にとつ
ても心に残るひとときとなり、卒業生のお
二方には青研での最後の事業を晴れや
かな気持ちで楽しんでいただけたことと
感じています。



表彰式では店舗を貸し切り、アットホームな空間で、卒業生と青研での思い出話などで盛り上がり、終始和やかで楽しい時間を過ごすことができました。卒業生のお二方、事業を盛り上げて下さった会員の皆様、誠にありがとうございました。

参加者

ゴルフ 十六名
表彰式 十九名

優勝者

真保 匠人様
(村山 広)

◆三団体交流 ゴルフコンペ



二〇二四年六月二十二日(土)長岡カンントリー倶楽部にて三団体交流ゴルフコンペを実施いたしました。梅雨時期の開催で天候が心配されましたが、当日は

幸いにも天候に恵まれ、楽しくプレーすることができました。その後の表彰式・懇親会では他団体の皆様とゴルフの話にとどまらず、仕事を含めた様々な情報交換を行い、地域を越えて交流を深めることも有意義な時間となりました。

三年に一度の幹事ということもあり、経験者が少ない中での拙い運営でありましたが、この経験をしっかりと次に活かしていきたいと思えます。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

参加者

小千谷鉄工電子協同組合木曜会
ゴルフ 八名 (懇親会 七名)
柏崎青年工業クラブ
ゴルフ 八名 (懇親会 八名)
長岡鉄工業青年研究会
ゴルフ 十二名(懇親会 十三名)

団体優勝

柏崎青年工業クラブ

(浅井 学)

◆屑鉄集め

二〇二四年九月二日(月)「屑の日」に屑鉄集めを実施いたしました。実施日直前まで、日本列島を南から北まで横断する強い勢力の台風が接近し、延期や中止について議論を重ねました。幸いにも実施日前日に熱帯低気圧に変わり、当日は小雨が降る中ではありましたが、事故や怪我もなく、無事に屑鉄集めの作業を完了することができました。

また、鉄鋼新聞社の取材を受け、当会と「屑鉄集め」についての記事が掲載されたことで、新たな関係構築のきっかけを得ることができたと感じております。

近年、鉄の買取価格が上昇する中、社会福祉活動の一環である屑鉄集めを実施できたことは、当会の活動にご理解、ご

協力を賜った提供企業様、ならびに回収作業やトラックを提供していただいた会員の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

参加者

屑鉄提供企業三十四社・団体
長岡鉄工業青年研究会 会員 二十名
(高坂 澤也)



◆秋季ゴルフコンペ



二〇二四年九月二十八日(土)長岡カンントリー倶楽部にて秋季ゴルフコンペを開催いたしました。当日は降雨が心配されましたが、残暑が和らぐ心地よい天候の

もと、楽しくプレーすることができました。当会コンペは前年度までしばらく夏

季に実施していましたが、昨今の猛暑の影響を鑑み、今年度は秋季に開催いたしました。残念ながら、他コンペとの日程重複などの事情もあり、前年度ほど多くの参加者には恵まれませんでしたが、それでも現役会員に加え、多くのOBの皆様にご参加いただき、コンペから表彰式を通して交流を深め、中締めから解散後も楽しい余韻が残る、とても有意義な事業となりました。

拙い運営ではございましたが、ご参加・ご協力いただいた皆様に深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

参加者

ゴルフ 二十七名
表彰式 二十八名

優勝者

渡辺 潤一郎 様

◆贈呈式

(長谷川 雅利)

二〇二四年十二月八日(日)に「つながりサロン」へ寄付金を贈呈、十二月九日(木)に「柿が丘学園」「もみの木工房つばさ」「双葉寮」の三施設にて寄付贈呈式、二〇二五年一月八日(水)に「フードバンクながおか」の所長を当会の月例委員会へお招きし、寄付金を贈呈いたしました。

恒例の三施設に加え、新たな寄付先を選定したことで、時代とともに必要とされる支援の形が変化し、様々な理由で支援を必要とする方がいることに改めて気づかされました。今後も支援の輪を広げ、寄付だけではなく、支援先の児童とものづくり体験教室などを通して、鉄工業の魅力が多くの方に伝わることを願っております。



まつり委員会

事業報告

委員長
山本 友紀
やまもと ともき

「鉄工青研の神輿とはこうあるべきだ」過去二十七回の歴史を数える青研神輿の中で、二十七名の委員長はこの言葉と真摯に向き合ってきたことと思います。

高坂会長より機会を与えていただきまして晴れて二十八人目の委員長となった私ですが、神輿運営の知識が乏しい中、いきなりこの要職を務めあげることができたのだろうか、そんな不安を抱きながらこの言葉と対峙してまいりました。

入会して間もない頃より参加させていただいている神輿渡

このような福祉活動が実現できたのも、屑鉄集めへのご理解とご協力をいただいた皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。
(村山 広)



御ですが、諸先輩方の熱く粹な後ろ姿を長く見続けてきたつもりですが、いざ自分分がその立ち位置になつてみるとあれほどのクオリティを実現するためのエネルギーは計り知れないものがあり、改めて諸先輩方の偉大さに気づかされる日々でした。

今年度は会長方針により全ての委員会において委員長一名、副委員長二名体制での活動となり、例年の組織と比較して格段に委員会内の意思疎通が図りやすくなりタイムリーなやり取りができたと思っております。当委員会におきましては、真保副委員長は過去二度のまつり委員長の経験から、ノウハウの蓄積は秀でているものがあり、多方面からの指摘で私に足りない隙間を大いに埋めてくれました。またもう一人の高坂副委員長は、少し頼りなかった以前とは比べ物にならない

いほどの積極性を身に付け、能動的な行動で委員会を支えてくれました。そして私を含めた三名を確固たる知識と経験で包括してくれた井上担当副会長の後押しもあり、今年度のまつり委員会をまとめることができたのだと思います。

冒頭の言葉に自身がどれほど近づけたかは定かではありませんが、自分なりの解釈において体現することができたように思います。しかしながら、それはまつり委員会の手柄ではありません。神輿協議会や関係各諸団体、ご協賛いただいた各企業と関連業者様、運営にご協力

いただいたOBの皆様、担ぎ手としてご参加いただいたOBの皆様、ご参加いただいた一般参加の皆様より与えていただいた賜物です。現役会員を代表して心より感謝申し上げます。

二〇二四年八月二日、総勢百十七名で大手通りを熱く練り歩いたこの日を、私は生涯忘れることは無いと思います。一年間、誠にありがとうございました。

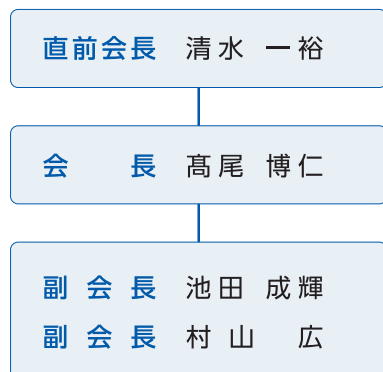
長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御

参加者

OB会員	二十四名
一般参加	七十二名
現役会員	二十一名
参加者合計	百十七名



2025年度 長岡鉄工業青年研究会 組織図



総務委員会 6名(担当副会長 池田 成輝)

委 員 長 本田 恵亮
副 委 員 長 渡辺 亮平
委 員 久保 棕介・小林 昂輝・鈴木 敬子・
布 川 巧

渉外・研修委員会 5名(担当副会長 池田 成輝)

委 員 長 水落 正樹
副 委 員 長 浅 井 学
委 員 真保 匠人・高井 侑哉・山谷 和真

実行委員会 6名(担当副会長 村山 広)

委 員 長 山本 友紀
副 委 員 長 高坂 滯也
委 員 大石 克輝・佐藤 邦宏・田中 祐樹・
橋本 直樹

まつり委員会 25名(担当副会長 村山 広)

委 員 長 井 上 航
副 委 員 長 荒川 大樹・高坂 諒
委 員 全 会 員

55周年準備委員会

委 員 長 清水 一裕
委 員 池田 成輝・村 山 広

会 計 長谷川 雅利

会計監査 山 本 友 紀

新入会員のご紹介

2024年度4月以降入会



佐藤 邦宏 (さとう くにひろ) 1985年9月24日生
株式会社 nitolex
〒954-0076 見附市新幸町7-24
TEL 0258-86-8201 FAX 0258-86-8205

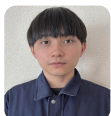


高井 侑哉 (たかい ゆうや) 1985年8月23日生
株式会社 松縄文五郎商店
〒959-1145 三条市福島新田丙2350-1
TEL 0256-45-7771 FAX 0256-45-7772



山谷 和真 (やまや かずま) 1993年7月28日生
有限会社 山和工業
〒954-0124 長岡市中之島3966-4
TEL 0258-66-0461 FAX 0258-66-0478

2025年度4月入会



久保 棕介 (くぼ りょうすけ) 2000年10月30日生
有限会社 久保鉄工所
〒940-1146 長岡市下条町938
TEL 0258-22-2545 FAX 0258-22-0277



布川 巧 (ぬのかわ たくみ) 1993年3月27日生
コスモ機械 株式会社
〒940-2023 長岡市蓮潟3-11-1
TEL 0258-29-2100 FAX 0258-28-1811



祝 ご卒業



高坂 壮
株式会社 長岡金型



丸山 栄紀
サカ工板金 株式会社

(以上 2名)